SHIMADZU
Excellence in Science

2027年3月期

中間期決算説明会

株式会社島津製作所

東証プライム市場：証券コード7701

代表取締役社長 CEO 山本靖則

2026年11月10日

ハイライト

中間期業績

全セグメント
増収増益

売上高・営業利益とも前年実績および1Q時想定を上回って成長

【売上高】　2,820億円　(前年同期比+10%)
【営業利益】　374億円　(前年同期比+18%)
【営業利益率】 13.2%　(前年同期比+0.9pt)

2Q(7-9月)業績

計測・産業　増益
営業利益率改善

計測：新製品とリカーリング売上高の増加が寄与し増益。利益率も改善

【営業利益/利益率】 168億円（+12%）/ 17.3%（1Q　9.6%）

産業：半導体関連事業が牽引し1Qに続き大幅増収増益。利益率も伸長

【営業利益/利益率】　46億円（+133%）/ 19.3%（1Q 18.4%）

通期目標

上方修正

新製品拡販と半導体市況を織り込み、過去最高を計画

【売上高】 6,300億円　(前年度比+12%　8月公表から+100億円)
【営業利益】 840億円　(前年度比+14%　8月公表から　+40億円)
【一株当たり配当】72円（前年度比　+3円　5月公表から　+2円）

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

決算概要

- 連結
- セグメント別

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結 / 業績

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EBITDA
2,820億円 +256億円 +10%	374億円 +58億円 +18%	387億円 +74億円 +24%	283億円 +46億円 +20%	485億円 +66億円 +16%

単位：億円		中間期(4月-9月)		前年同期比	
		FY2025	FY2026	増減額	増減率
業績	売上高	2,563	2,820	+256	+10%
	営業利益	316	374	+58	+18%
	営業利益率	12.3%	13.2%	+0.9pt	
	経常利益	313	387	+74	+24%
	親会社株主に帰属する当期純利益	236	283	+46	+20%
<参考>	のれん等償却前営業利益	323	381	+58	+18%
	EBITDA	419	485	+66	+16%
	研究開発費	143	141	▲3	
	設備投資額	119	230	+111	
	減価償却費	99	107	+8	

のれん等償却前営業利益
381億円 +58億円 +18%

為替影響額	
売上高	+142億円
営業利益	+36億円

為替差損益 ＋９億円

		中間期(4月-9月)		前年同期比	
		FY2025	FY2026	増減額	増減率
為替	平均為替レート：米ドル（円）	146.08	159.40	+13.32	+9%
	ユーロ（円）	168.10	184.40	+16.30	+10%

FY2026Q1から、当社グループの経営上の重要な指標として「のれん等償却前営業利益」を採用。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025中間期はのれん等償却費**7億円**の組み換えを行った。

※記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、　表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

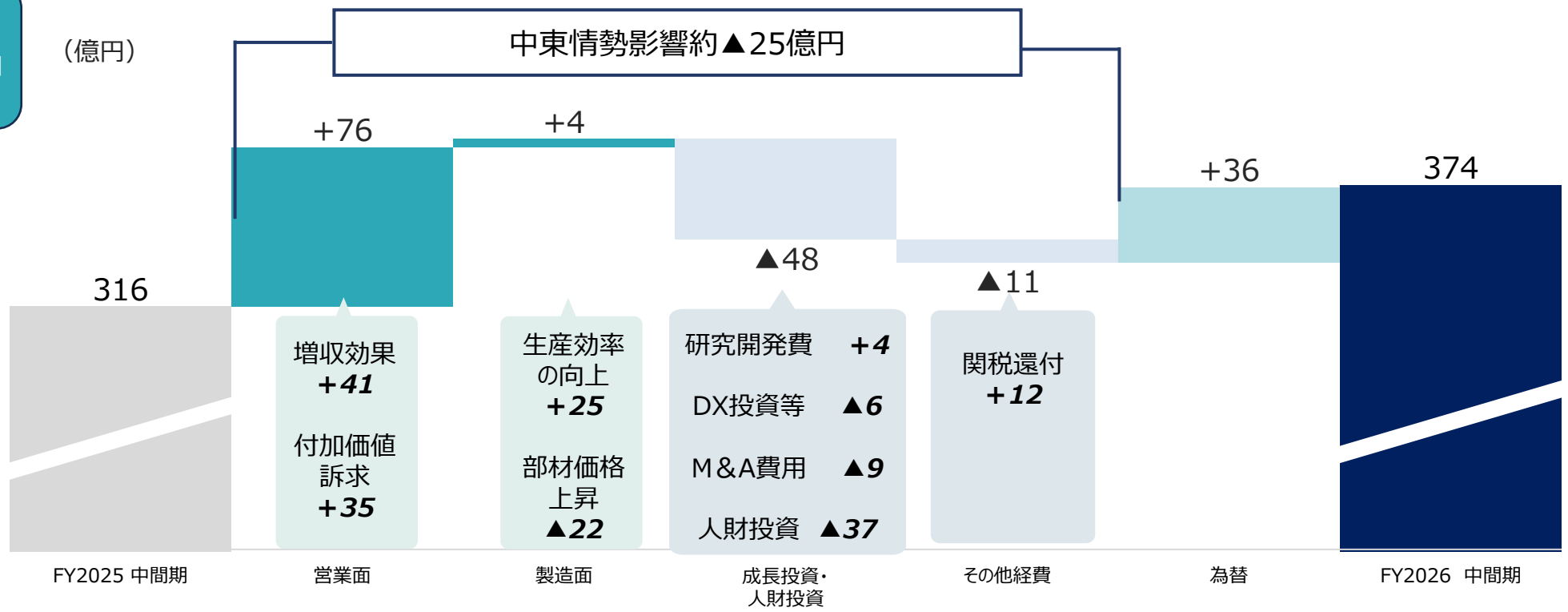
連結 / 営業利益増減要因

営業益：＋76億円 中東影響を受け一部地域で苦戦したが、半導体関連事業の牽引と付加価値訴求で増益

製造益：＋4億円 部材価格上昇を生産効率の向上とコストダウンでカバーし、全体で増益

成長投資増：48億円 DX投資、M&A関連費用　**経費他増：11億円** 業務委託、旅費交通費など

営業利益
374億円　＋58億円 ＋18%



※記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、　表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結 / 地域別売上高

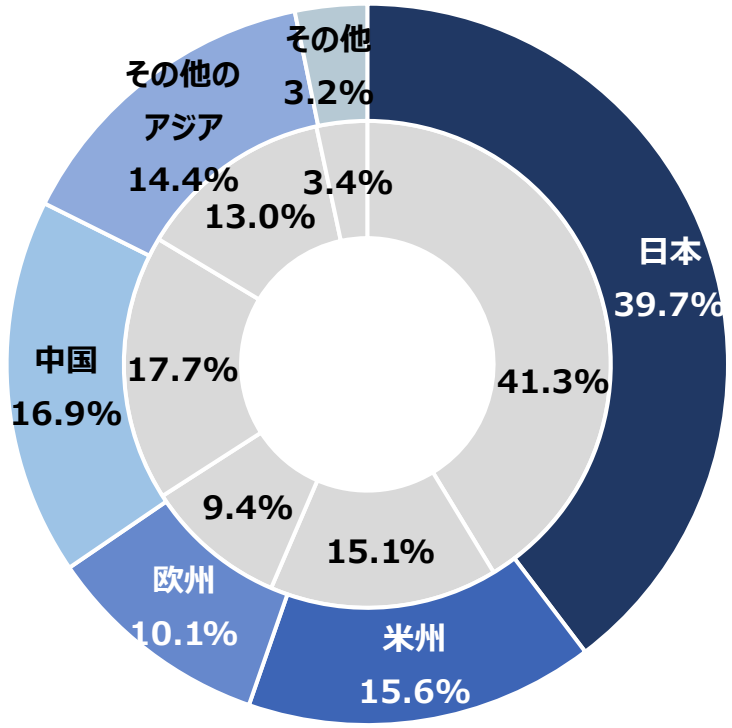
主要地域すべて増収

海外比率 **60.3%** **+1.6pt**

- ■ 日本 ： 半導体向けターボ分子ポンプ（TMP）と航空（防衛関連）がけん引
- ■ アジア ： 特に台湾・韓国で、半導体向けTMPが大きく増加
- ■ 米州、中国 ： TMPに加えて質量分析システムや液体クロマトグラフが増加
- ■ 欧州 ： 質量分析システムが増加

単位 億円	売上高				構成比		
	FY2025 中間期	FY2026 中間期	前期比 増減額	前期比 増減率	FY2025 中間期	FY2026 中間期	前期比 増減
日本	1,058	1,118	+60	+6%	41.3%	39.7%	▲1.6pt
海外	1,505	1,701	+196	+13%	58.7%	60.3%	+1.6pt
米州	388	441	+53	+14%	15.1%	15.6%	+0.5pt
欧州	242	286	+44	+18%	9.4%	10.1%	+0.7pt
中国	453	476	+23	+5%	17.7%	16.9%	▲0.8pt
その他のアジア	334	406	+72	+22%	13.0%	14.4%	+1.4pt
その他	86	91	+5	+6%	3.4%	3.2%	▲0.1pt

外側：FY2026実績　内側：FY2025実績



海外事業のバランスが良くなっている

＊本頁記載の数値のみ、決算短信に合わせ億円未満を切り捨て
＊その他のアジア：インド、東南アジア、韓国、台湾

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 売上高・営業利益

増収増益
売上高
過去最高

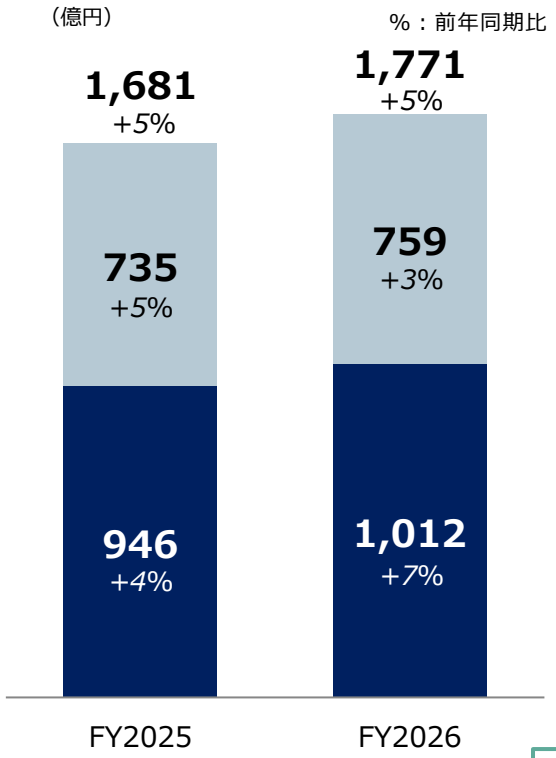
売上高
1,771億円
＋5％
重点機種＋7％

リカーリング
775億円
比率44%
＋4pt

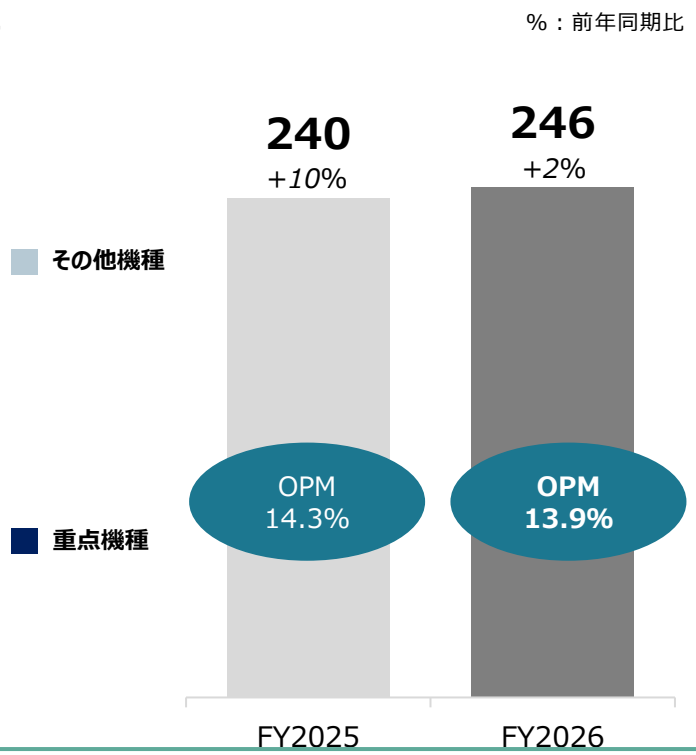
営業利益
246億円
＋2％
利益率13.9%

■営業利益　：中東影響で部材高騰と売上遅延が発生したが新製品とリカーリング増により増益
■営業利益率：2Q 17.3% (1Q 9.6%)と大きく改善

売上高



のれん等償却前営業利益



重点機種　売上高 **1,012** 億円 (前年同期比+7%)

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

- **LCは北米、中国、インドで医薬向けに増加**
- **MSは北米、中国で医薬向けに、欧州で臨床向けに増加**

その他機種　売上高 **759** 億円　(前年同期比+3%)

- **中国では前年大口案件の反動で減少**

リカーリング　売上高 **775** 億円　(前年同期比+17%)

※リカーリング：消耗品、メンテナンス・サービス

- **リカーリング売上高比率　44% (対前年同期+4pt)**
- **特に中国・インドで医薬市場向けに消耗品が拡大**

FY2026から、当社グループの経営上の重要な指標を営業利益から「のれん等償却前営業利益」に変更したことに伴い、セグメント利益も「のれん等償却前営業利益」に変更。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025中間期はのれん等償却費**6億円**の組み換えを行った。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

医用機器 / 売上高･営業利益

増収増益
営業利益
過去最高

売上高
357億円＋6%
X線機種 ＋12%

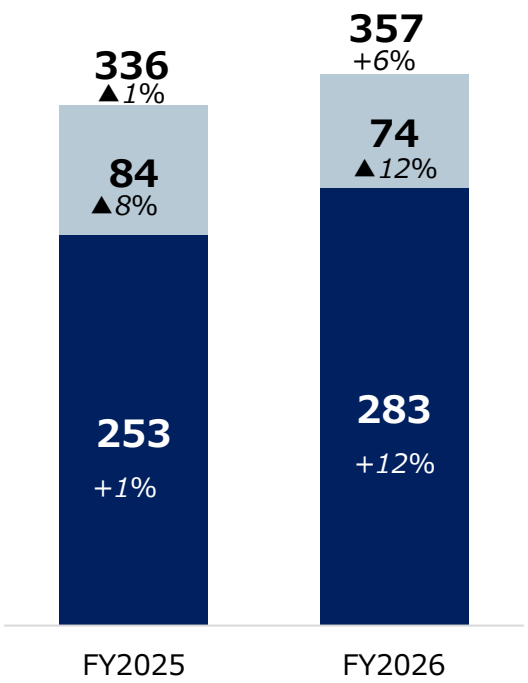
営業利益
30億円＋119%
利益率8.3%

リカーリング
139億円＋4%
比率39%▲1pt

- **収益力向上への取り組みが順調に進展し利益改善**
- **X線機種が好調に推移、低収益製品を縮小**
- **北米とオセアニアを中心にサービス事業が伸長**

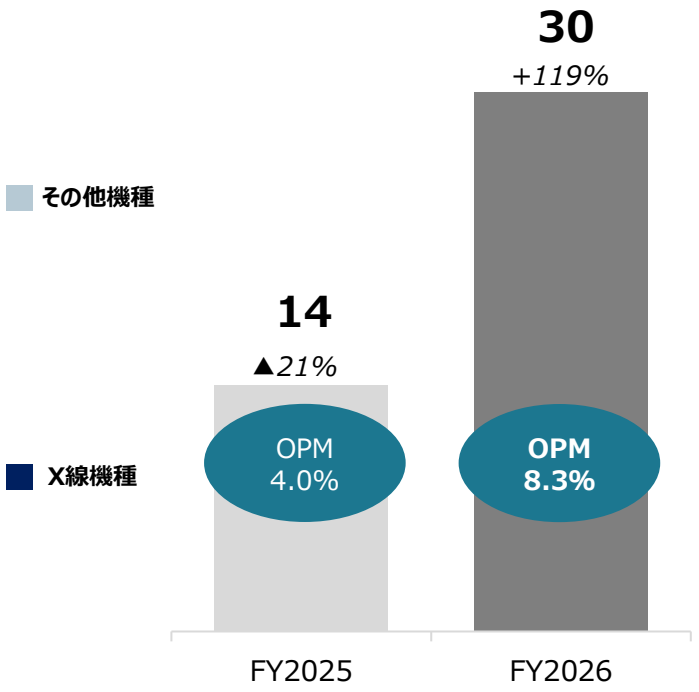
売上高

（億円）　　%：前年同期比



のれん等償却前営業利益

%：前年同期比



X線機種　売上高 **283** 億円　(前年同期比+12%)

※X線機種：X線TVシステム、血管撮影システム、一般撮影システム

- **一般撮影システムや回診用システムの新製品効果で好調に推移**

その他機種　売上高 **74** 億円　(前年同期比▲12%)

- **収益性の低い製品の販売を縮小したことで減少**

リカーリング　売上高 **139** 億円　(前年同期比+4%)

- **リカーリング売上高比率　39% (対前期▲1pt)**
- **サービスが増加も、製品の伸び率が大きく比率は低下**

FY2026から、当社グループの経営上の重要な指標を営業利益から「のれん等償却前営業利益」に変更したことに伴い、セグメント利益も「のれん等償却前営業利益」に変更。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025中間期はのれん等償却費**1億円**の組み換えを行った。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

産業機器 / 売上高･営業利益

過去最高
売上高
営業利益

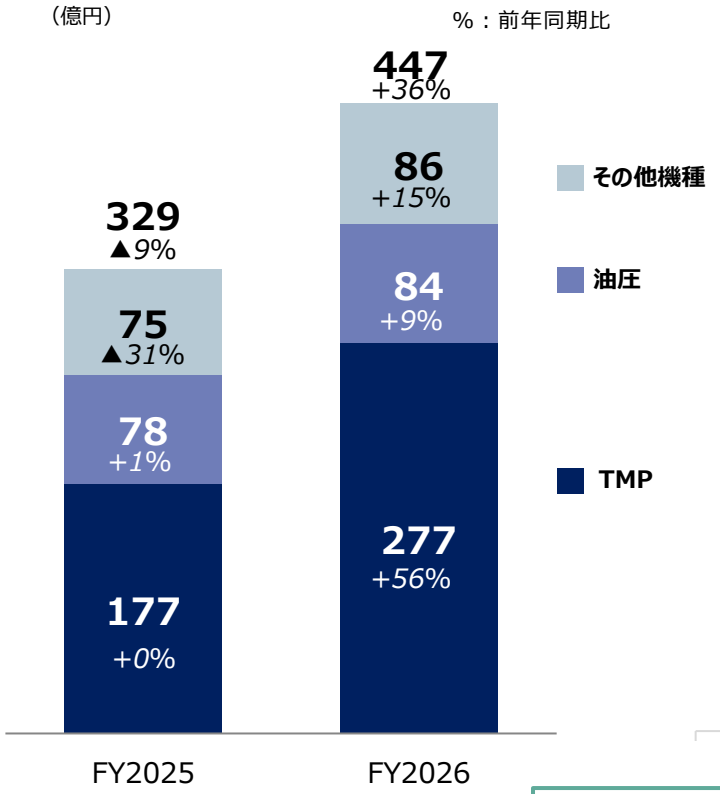
売上高
447億円
+36%
TMP+56%

TMPリカーリング
58億円
+43%
比率21%

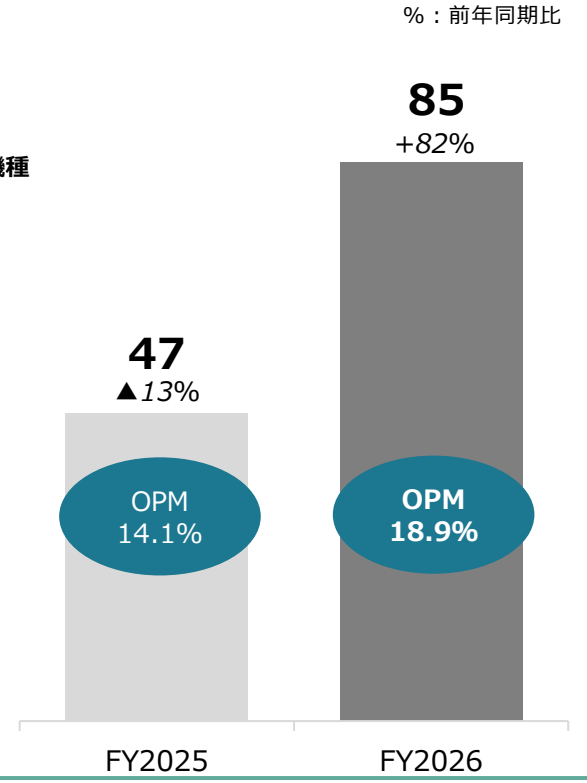
営業利益
85億円
+82%
利益率18.9%

- 半導体製造装置（以下SPE）向けTMPが大きく増加
- TMPサービス拠点強化で、 日、欧、中、台湾、韓国で伸長
- TMPの製品とサービスが伸長し、営業利益率4.8pt向上

売上高



のれん等償却前営業利益



TMP
売上高 **277** 億円 (前年同期比+56%)

- SPE向けが日本、北米、欧州、台湾、韓国で大きく増加
- コーティング向けが中国で減少

TMPリカーリング
売上高 **58** 億円 (前年同期比+43%)

- TMPリカーリング売上高比率 21% (対前期▲2pt)
- 半導体市場向けサービスが増加

油圧
売上高 **84** 億円 (前年同期比+9%)

- 建設機械、農業機械向けを中心に増加

その他機種
売上高 **86** 億円 (前年同期比+15%)

- 中国でガラスワインダが増加

FY2026から、当社グループの経営上の重要な指標を営業利益から「のれん等償却前営業利益」に変更したことに伴い、セグメント利益も「のれん等償却前営業利益」に変更。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025中間期はのれん等償却費**0億円**の組み換えを行った。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

航空機器 / 売上高･営業利益

過去最高
売上高
営業利益

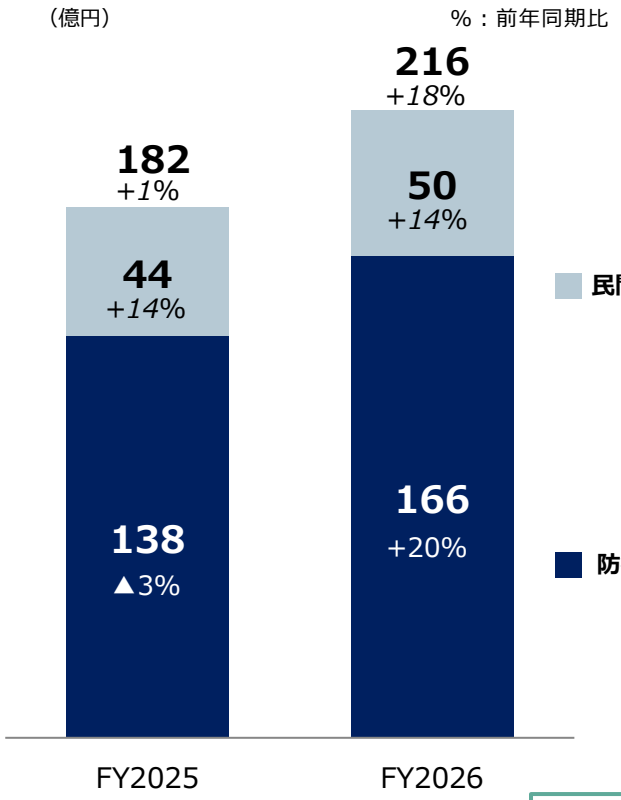
売上高
216億円
+34億円
+18%

防衛関連
166億円
+20%

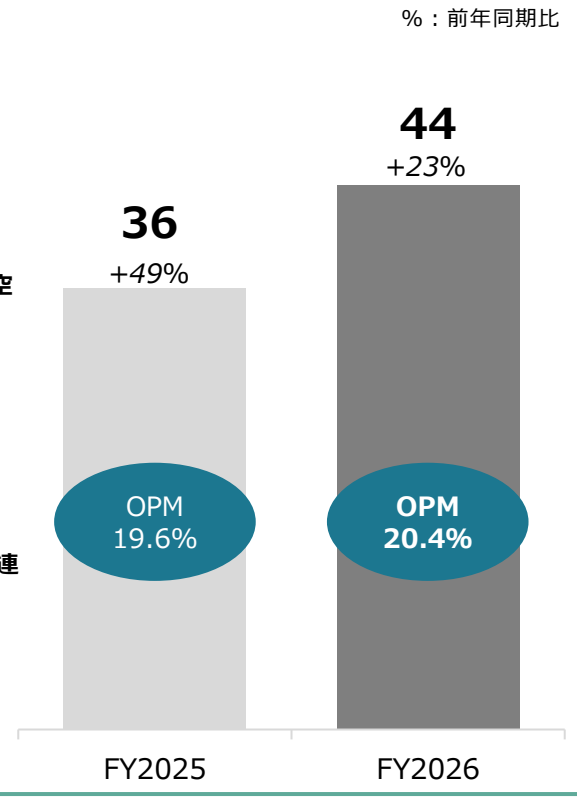
営業利益
44億円
+23%
利益率20.4%

- 防衛力強化方針の追い風を受け好調に推移
- 民間航空機分野も搭載品･補用部品ともに増加
- 工場業績も好転し営業利益を押し上げ

売上高



のれん等償却前営業利益



防衛関連 売上高 **166億円** (前年同期比+20%)

- 政府の防衛力強化方針により需要が拡大

民間航空 売上高 **50億円** (前年同期比+14%)

- 民間航空機向け搭載品や航空会社向け補用部品が増加
- サプライチェーンの混乱から回復基調

FY2026から、当社グループの経営上の重要な指標を営業利益から「のれん等償却前営業利益」に変更したことに伴い、セグメント利益も「のれん等償却前営業利益」に変更。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025中間期はのれん等償却費**0億円**の組み換えを行った。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

7-9月売上高・営業利益/計測機器・産業機器

計測 増収増益	売上高	営業利益	リカーリング
	968億円 +5% 重点機種+8%	168億円 +12% 利益率17.3%	412億円 比率43% +5pt

産業 増収増益	売上高	営業利益	TMPリカーリング
	240億円 +49% TMP+83%	46億円 +133% 利益率19.3%	31億円 比率21% ▲4pt

■ 売上高　：重点機種が拡大
■ 営業利益　：増収と新製品によるミックス改善で増益
■ 営業利益率：1Q 9.6%から17.3%に大幅拡大

■ 売上高　：1Qから増収幅が拡大
■ 営業利益　：増収とリカーリング増で大幅増益
■ 営業利益率：1Q 18.4%から19.3%に伸長

重点機種

売上高 **547** 億円　(前年同期比+8%)

- LCは北米、中国、インドで医薬向けに増加
- MSは北米、中国で医薬向けに、欧州で臨床向けに増加

リカーリング

売上高 **412** 億円　(前年同期比+19%)

※リカーリング：消耗品、メンテナンス・サービス

- 特に中国・インドで医薬市場向けに消耗品が拡大

TMP

売上高 **150** 億円　(前年同期比+83%)

- SPE向けが日本、北米、欧州、中国、台湾、韓国で大きく増加
- 1Qの前年同期比+34%から、増収率がさらに拡大

TMPリカーリング

売上高 **31** 億円　(前年同期比+52%)

- TMPリカーリング売上高比率　21% (対前期▲4pt)
- 半導体市場向けサービスが増加。製品販売も拡大し、比率は低下

FY2026から、当社グループの経営上の重要な指標として「のれん等償却前営業利益」を採用。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025Q2は計測機器事業でのれん等償却費計**4億円**の組み換えを行った。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

ガイダンス

- 2026年度通期業績予想
- 2026年度通期セグメント別業績予想
- 通期予想達成に向けて
  - 半導体関連事業拡大の取り組み
  - 計測機器/ 地域別受注実績と今期の取り組み
  - 計測機器/ リカーリング事業拡大による収益性の改善
  - 収益力向上への進捗

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

2026年度通期業績予想

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EBITDA	のれん等償却前営業利益
6,300億円 +693億円 +12%	840億円 +103億円 +14%	850億円 +22億円 +3%	610億円 +5億円 +1%	1,080億円 +130億円 +14%	890億円 +139億円 +18%

8月公表比

- 半導体関連需要上振れ
- 航空事業の利益増

Tescan社業績

- 26年10月から連結

主要施策

- 計測重点機種の拡販
- 半導体市場への展開
- プライシング戦略
- 低収益事業の縮小

単位：億円		FY2025	FY2026 新予想	前年度比 増減額	前年度比 増減率	8月公表比 増減額	8月公表比 増減率
業績	売上高	5,607	6,300	+693	+12%	+100	+2%
	営業利益	737	840	+103	+14%	+40	+5%
	営業利益率	13.1%	13.3%	+0.2pt		+0.4pt	
	経常利益	828	850	+22	+3%	+40	+5%
	親会社株主に帰属する当期純利益	605	610	+5	+1%	+20	+3%
<参考>	のれん等償却前営業利益	751	890	+139	+18%	+40	+5%
	EBITDA	950	1,080	+130	+14%	—	—

通期為替レート
米ドル：157.2円（下期155円）
ユーロ：182.2円（下期180円）

研究開発費			設備投資額			減価償却費		
	対前期	対8月予想		対前期	対8月予想		対前期	対8月予想
320	+29	+0	300	+79	+0	200	▲4	+0

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

2026年度通期セグメント別業績予想

	売上高		営業利益	
計測	4,100億円	+451億円 +12%	630億円	+78億円 +14%
医用	745億円	+ 7億円 + 1%	65億円	+15億円 +29%
産業	930億円	+215億円 +30%	180億円	+73億円 +69%
航空	470億円	+36億円 + 8%	75億円	▲ 7億円 ▲ 9%

- 計測： 重点機種中心に新製品を拡販、リカーリング拡大、価格適正化の推進
  半導体関連製品展開、Tescan社業績6か月分寄与
- 医用： 新製品拡販、低収益製品縮小、リカーリング強化
- 産業： 半導体市場展開、TMP製造拡大とリカーリング強化
- 航空： 防衛・民間航空機事業を継続、防衛輸入品の為替精算影響で減益

単位: 億円	売上高				のれん等償却前営業利益				営業利益率		
	FY2025	FY2026 新予想	前年度比 増減額	前年度比 増減率	FY2025	FY2026 新予想	前年度比 増減額	前年度比 増減率	FY2025	FY2026 新予想	前年度比 増減
計測機器	3,649	4,100	+451	+12%	552	630	+78	+14%	15.1%	15.4%	+0.2pt
医用機器	738	745	+7	+1%	50	65	+15	+29%	6.8%	8.7%	+1.9pt
産業機器	715	930	+215	+30%	107	180	+73	+69%	14.9%	19.4%	+4.4pt
航空機器	434	470	+36	+8%	82	75	▲7	▲9%	19.0%	16.0%	▲3.0pt
その他	71	55	▲16	▲23%	12	15	+3	+27%	12.4%	20.5%	+8.1pt
調整額	-	-	-	-	▲52	▲75	▲23	-	-	-	-
合計	5,607	6,300	+693	+12%	751	890	+139	+18%	13.4%	14.1%	+0.7pt

FY2026Q1から、当社グループの経営上の重要な指標として「のれん等償却前営業利益」を採用。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025はのれん等償却費計**14億円**の組み換えを行った。

FY2026Q2から、買収により発生する費用をセグメントに帰属させず、全社費用として計上。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025は買収関連費用計**15億円**の組み換えを行った。

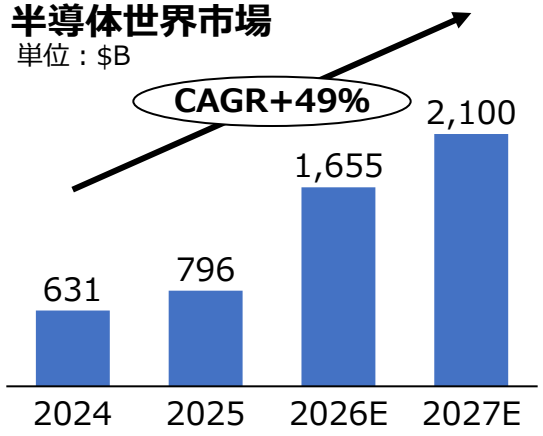
Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

半導体関連事業拡大の取り組み

世界の半導体市場

半導体世界市場

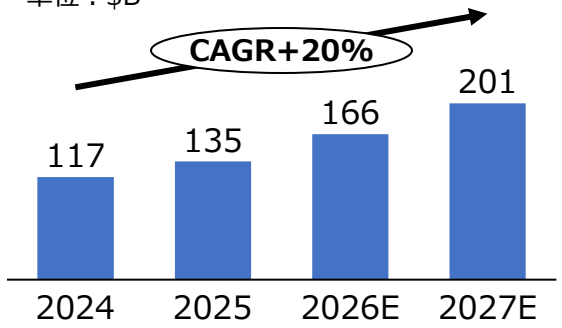
単位：$B



E：予測（2026年8月時点）　出典：WSTS

半導体製造装置(SPE)世界市場

単位：$B



E：予測（2026年7月時点）　出典：SEMI

TMP事業

当社戦略

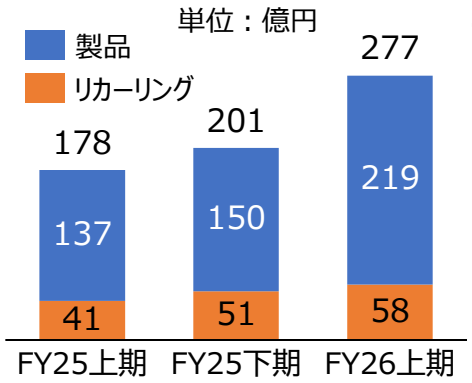
【短期】供給能力の拡大
現有設備の最大活用と最適配置

【短期】サービス体制・能力の拡大

【中長期】製造能力の拡大

【中長期】次世代SPEに標準搭載
顧客拠点で技術対応・開発

売上高・リカーリング売上高の推移



半期平均成長率

事業全体	**+25%**
製品	**+26%**
リカーリング	**+19%**



磁気軸受型
ターボ分子ポンプ

大手装置メーカー各社が採用、世界トップシェア

Tescan社　不良解析事業

- 通期半導体関連売上高見込：前年比 +20%以上
- FIB-SEM1-9月受注台数：　前年比+30%以上
  レーザー・CT・FIB-SEM・TEMの複合解析が高評価

【参考】Tescan社全体
通期売上高見込：前年比+ 10%以上
1-9月受注高　：前年比+ 20%以上

計測　歩留改善事業

【水分析市場（汚染監視・管理）】
- **超純水：**基準厳格化、デバイスメーカーでデモ評価中
- **PFAS分析**：半導体製造工程・部品のPFAS分析を展開
- **排水処理：**中国Fab増強で伸長（前年比+130%）

【AMC（空気中分子汚染）市場】
- 見えない空気汚染管理がプロセス安定化の鍵
- 台湾企業との協業でGCMS分析システムを展開
  （受注台数前年比＋50%）

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 地域別受注実績と今期の取り組み①

■ 受注が好調な半導体、医薬、バイオ医薬市場で、最新ニーズに適した重点機種・新製品を提案
■ 特に、日本、東南アジア、韓国、台湾、中国で、Tescan製品も含めたトータルソリューション提案を強化

地域	２Q受注高 前年同期比（為替除く）	今期の取り組み
連結	+6-9%	
日本	**+3-7%** **(重点機種＋23-27%)** 半導体・医薬市場向け などが好調	**マザー地域として、お客様の分析計測ワークフロー全体へのソリューション提案を展開** □ **半導体材料関連**（化学）で、各種分析装置ニーズにトータルソリューション展開 □ **医薬市場**（自動化・効率化需要で投資増）で重点機種・新製品を提案 □ **官公庁**向け（補正予算）案件へ提案強化
その他のアジア (インド除く)	**+13-17%** **(重点機種　＋13-17%)** 東南アジア ＋13-17% 韓国 ＋10-14% 台湾 ＋45%超	**半導体・電池・医薬品関連ビジネスの重点地域として、トータルソリューションを提案** □ 東南アジアの**医薬市場**（自国生産・規制対応強化などで好調）で、重点機種中心に新製品を展開 □ 韓国の**半導体関連市場**で、超純水、排水、Tescan製品などで取り組み強化 □ 台湾の**半導体関連市場**で、超純水、排水、AMC、Tescan製品などで取り組み強化
中国	**+20-24%** **(重点機種　＋23-27%)** LC・MSはバイオ医薬 向けが大幅増	**動きのある市場に集中し、顧客ニーズに合わせたソリューションを提案** □ **バイオ医薬市場**（投資が活況）向けに、LC・MSの販売を強化 □ **大規模設備更新プロジェクト**（入札活発化）でアカデミア・税関・検査所の需要開拓に注力 □ **電機電子市場**（中国版RoHS規制関連）で、売上高増加を見込む

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 地域別受注実績と今期の取り組み②

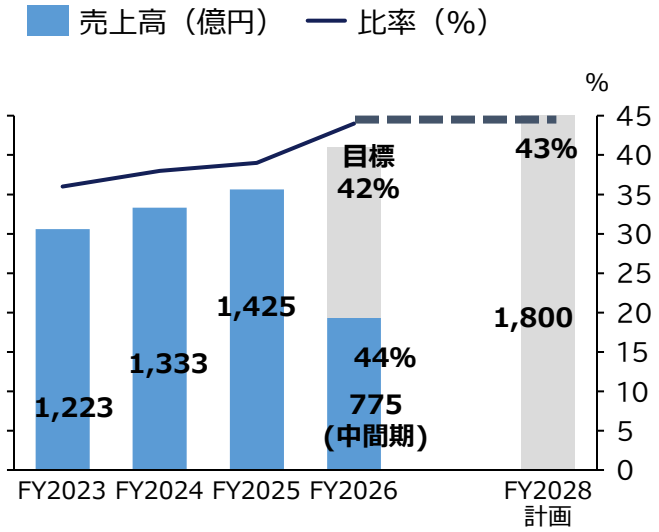
■ 欧州は、臨床検査機器大手と協働して、臨床市場を深耕
■ 北米・インドでは、医薬・半導体市場に向け、重点機種や新製品による業績拡大に注力

地域	2Q受注高 前年同期比（為替除く）	今期の取り組み
連結	+6-9%	
欧州	+3-7% **重点機種　+6-9%** 臨床市場で好調	**臨床市場深耕のフロントランナーとして、ビジネスモデル構築をすすめる** □ **臨床市場向けに**ソリューションをトータルで提案し、病院・検査機関の需要を獲得 臨床検査機器大手を共同してLCMS専用機を展開 □ **医薬・食品市場**で、重点機種新製品を中心としたソリューションを強化
北米	▲0-3% **LCは前年比プラス** 医薬向け中心	**R&Dセンターを核に大手製薬・臨床検査会社との関係構築と新製品・MVS展開** □ **医薬市場**でLC新製品を展開。**AI創薬や自動化**向けにトータルソリューション展開 □ **臨床市場**で高評価の多検体処理LCMSシステムと消耗品を展開 □ **環境関連**（LCMS新製品でPFAS検査、イオンクロマトグラフ新製品で水質検査）を展開 □ **半導体関連**（旺盛な需要を背景に、高成長が継続中）で、超純水、排水検査装置を拡販 同時に、Tescan製品を活かして不良解析市場にソリューション展開
インド	▲4-6% **MS・GCは前年比プラス** 医薬向けに拡大	**重点強化地域として、販売・製造・開発能力を強化** □ **医薬市場**（原薬/中間体・ジェネリック医薬の設備投資増強が継続、中東影響から需要回復基調）で、 下期は品質管理部門中心に一体型LC新製品とトータルソリューション展開に注力 □ **自動車・半導体・電子部品・電池材料**の組成・構造・強度・劣化評価ニーズにソリューション展開

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / リカーリング事業拡大による収益性の改善

- 市場ニーズに適した消耗品・試薬・培地・保守サービスを提案し、リカーリング事業を拡大
- プライシング戦略を通じてサービスと保守部品の価格適正化を推進
- リカーリング売上高比率の中計目標値43%を上回る成長をターゲットに活動



計測リカーリング売上高・比率推移
（Tescan除く）



全自動前処理 LCMS分析システム＋消耗品

FY2026中間期実績

欧州　：臨床市場での業績拡大（前年比**35－39%増**）を背景に、消耗品・サービスが伸長

東南アジア　：部品　・売上高前年比**23－27%増**。サービス部品パッケージ製品の拡販が奏功
：サービス　・売上高前年比**15－19%増**。リカーリング事業売上高は継続的に拡大
：消耗品　・ワイエムシイ製品の追加等によるラインナップ拡充で、売上高**6-9%増**

中国　：医薬市場向け保守契約（前年比**14-17%増**）、部品（同**60%以上増**）が大幅に伸長
：自社カラムの売上高も前年比**16-19%増**と堅調に推移



分析用バイアル

今後の戦略

装置・消耗品・サービスの一体提供で事業成長を加速

サービス　・**MVS事業を基盤**としたリモートサービスにより顧客価値を最大化
・装置保守に分析・データ解析支援を加えた有償プランをグローバル展開

消耗品　：**試薬・培地の用途拡大と地産地消をグローバルに推進**
①臨床市場：Abbott社との連携によりLCMS試薬を販売
②医薬市場：ワイエムシイ社製消耗品の販売を中国・ASEANで拡大
③バイオ医薬等の成長市場でカラム・培地・消耗品の製品群を強化
④イオンクロマトグラフ・GC新製品と連動した消耗品ラインナップを拡充



GC用ガス精製フィルタ



分析用カラム

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

収益力向上への進捗

■ 中計で掲げた「収益力向上」に向けて順調に進捗
■ のれん償却前営業利益率を通期13.7%（8月公表）から14.1%（11月公表）へ 0.4pt 上方修正

売上ミックスの改善

【計測】
•新製品売上高寄与率が向上（前年同期比＋１桁半ばpt）
•重点機種成長によるプロダクトミックスの良化
•リカーリング売上高増（前年同期比+17%）
【産業】
•TMPリカーリング売上高増（前年同期比+43%）

プライシングの適正化

【計測】
•2026年10月から国内部品価格改定および効果検証

【全体】
•価格マネジメントを仕組化し、2027年から徐々にグローバル展開
•適正な形でコスト増を価格反映（上期＋35億円）

不採算製品・事業の縮小

【医用】
•2026年度上期営業利益率8.3%（前年同期比＋4.3pt）

コスト低減

【全体】
•生産効率の向上による利益増（前年同期比＋25億円）

営業利益率の推移と計画

2025年度実績
のれん等償却後：13.1%

→

2026年度上期実績
のれん等償却後：13.2%
のれん等償却前：13.5%

→

2026年度目標(11月公表)
のれん等償却後：13.3%
のれん等償却前：14.1%

2028年度目標
IFRS：14.7%

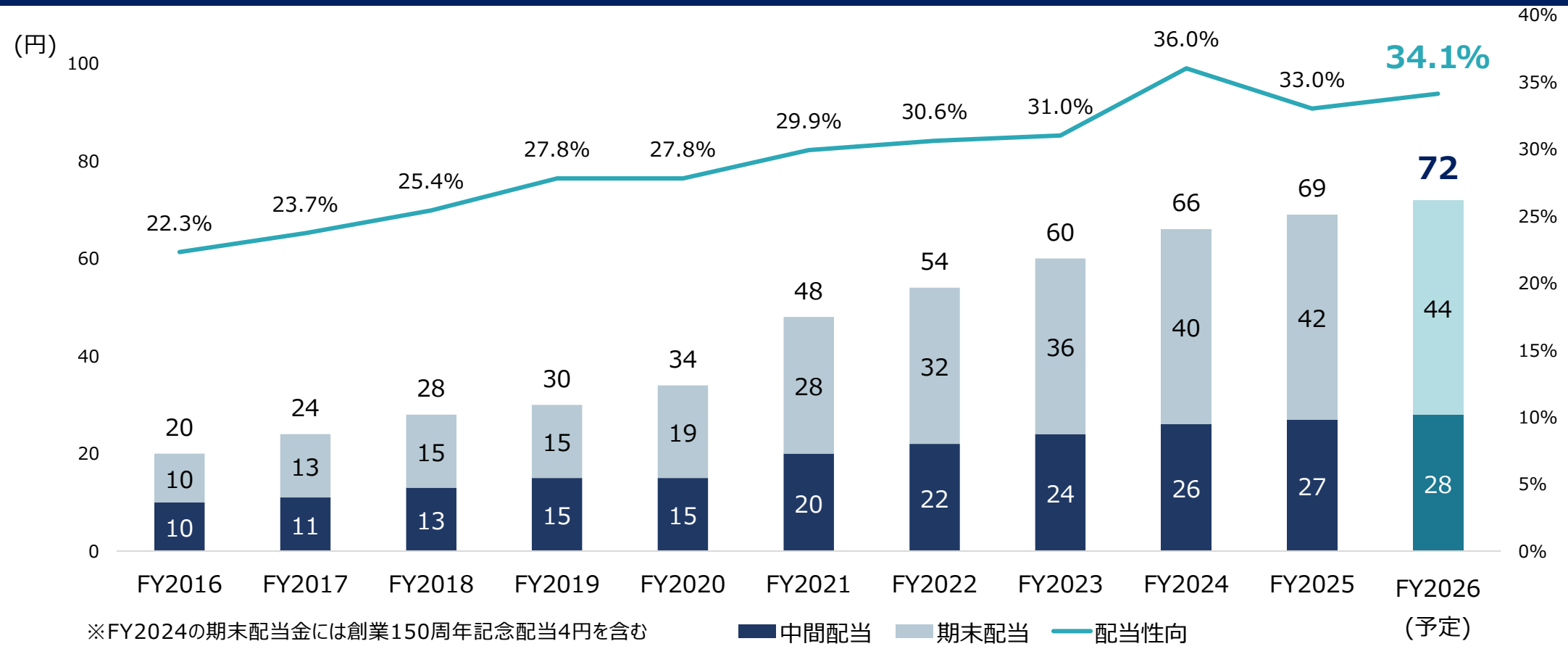
8月公表 のれん等償却後：12.9%
のれん等償却前：13.7%

+0.4pt

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

株主還元

■ 配当金　：中間配当　5月公表比・前年比1円増配の28円
　　年間配当　5月公表比２円・前年比3円増配
　　13期連続増配となる1株当たり72円（中間28円、期末44円）を予定
■ 配当性向：34.1%に向上を見込む



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

中長期トピックス ■ AI創薬ラボの全体最適化による成長

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測技術を核に、AI創薬ラボ全体の最適化で成長を実現

■ ラボ全体の自動化・統合を通じて、顧客の分析生産性を継続的に向上
■ AIプラットフォーマーとの協業でラボ自動化技術を拡充

研究現場の課題

<背景>
AI創薬が実装段階へ

高い再現性で
迅速にデータ取得し、
研究を加速

**ラボ自動化から
ラボ全体最適化へ**

個別工程の自動化から、
AIで装置・データを統合

医薬品市場
約3.5兆USD
（2035年、当社推計）

●ラボ全体の自動化・統合

ハイスループット化
ロボットシステム







living laboratory
ラボ全体のワークフローを
統合制御

前処理の自動化
リキッドハンドリング

ANALYTICAL INTELLIGENCE

自律型ソリューション
自律型実験システム

＋ 新規施策
需要に応じて拡充

AIによる解析高度化
AIピーク検出ソフト

段階的に実現

●複数のAIプラットフォーマーと連携し、AI予測と実験検証を循環

顧客への提供価値

検証サイクル短縮
×
データ品質向上
×
オープン接続
▼
顧客の
分析生産性向上

強み

- 「AX（Analytical Transformation）」による分析業務変革の提案
- 多様な分析装置と「LabSolutions」による計測・解析・データ管理

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、
経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：㈱島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

セグメント別損益（4-9月）

各セグメントの営業利益は、継続的な収益力を示す指標として「のれん等償却前営業利益」での開示に変更

- ■計測：増収増益　売上高 過去最高
- ■医用：増収増益　営業利益 過去最高。利益率も改善
- ■産業：増収増益　売上高・営業利益・営業利益率 過去最高
- ■航空：増収増益　売上高・営業利益 過去最高

単位 億円	売上高				のれん等償却前営業利益				営業利益率		
	FY2025 中間期	FY2026 中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	FY2025 中間期	FY2026 中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	FY2025 中間期	FY2026 中間期	前年同期比 増減
計測機器	1,681	1,771	+90	+5%	240	246	+5	+2%	14.3%	13.9%	▲0.4pt
医用機器	336	357	+20	+6%	14	30	+16	+119%	4.0%	8.3%	+4.3pt
産業機器	329	447	+118	+36%	47	85	+38	+82%	14.1%	18.9%	+4.8pt
航空機器	182	216	+34	+18%	36	44	+8	+23%	19.6%	20.4%	+0.8pt
その他	35	29	▲5	▲15%	5	5	+0	+9%	9.9%	11.6%	+1.7pt
調整額	-	-	-	-	▲18	▲28	▲10	-	-	-	-
合計	2,563	2,820	+256	+10%	323	381	+58	+18%	12.6%	13.5%	+0.9pt

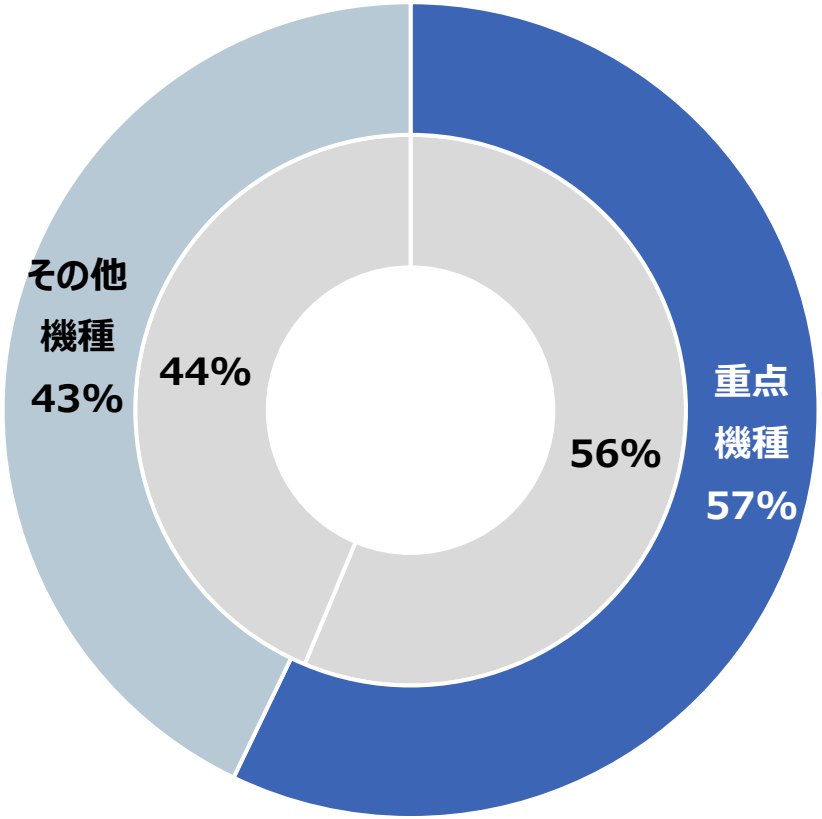
FY2026Q1から、当社グループの経営上の重要な指標として「のれん等償却前営業利益」を採用。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025中間期はのれん等償却費計**7億円**の組み換えを行った。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 各種売上高構成比率（4-9月）

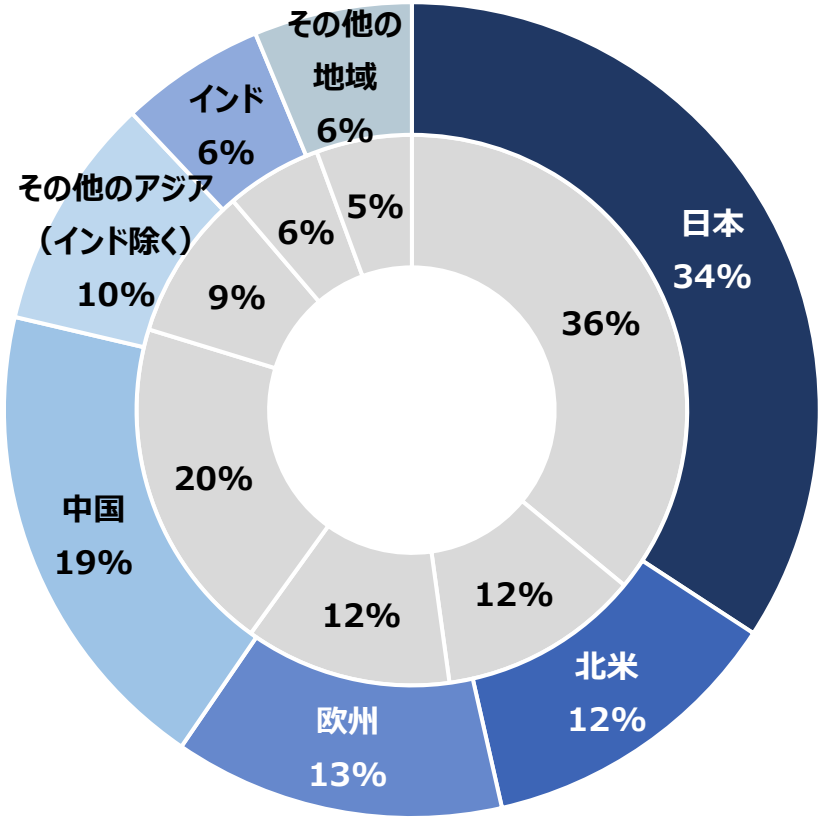
機種別

外側：FY2026実績　内側：FY2025実績



地域別

外側：FY2026実績　内側：FY2025実績

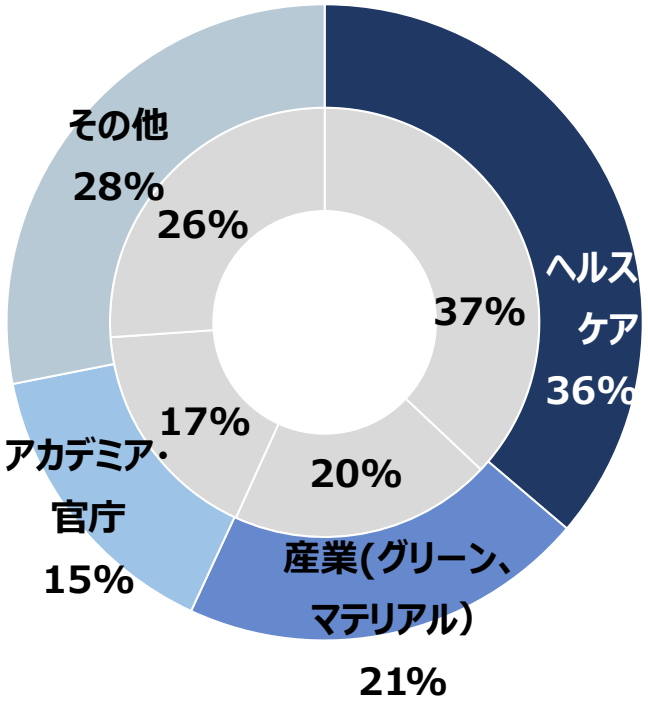


Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 領域別売上高比率（4-9月）

市場別売上高構成比

外側：FY2026実績　　内側：FY2025実績



市場と主な業界	構成比 FY2025	構成比 FY2026	売上高 前年同期比	概況
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析	37%	36%	+3%	• 医薬は中東影響を受けたインドで減少も日本・北米・中国で増加 • 臨床（医療機関）は特に欧州で増加
産業（グリーン、マテリアル） ●化学・素材 ●電機 ●自動車	20%	21%	+10%	• 北米で環境関連が微減 • 半導体関連(主に材料）が好調
アカデミア・官公庁	17%	15%	▲8%	• 低迷していた北米は回復傾向 • 日本は例年より遅れ気味、下期に動く見込み • 東南アジアでは大口案件もあり好調に推移 • 中国は前年の大口案件からの反動減

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 地域別売上高（4-9月）

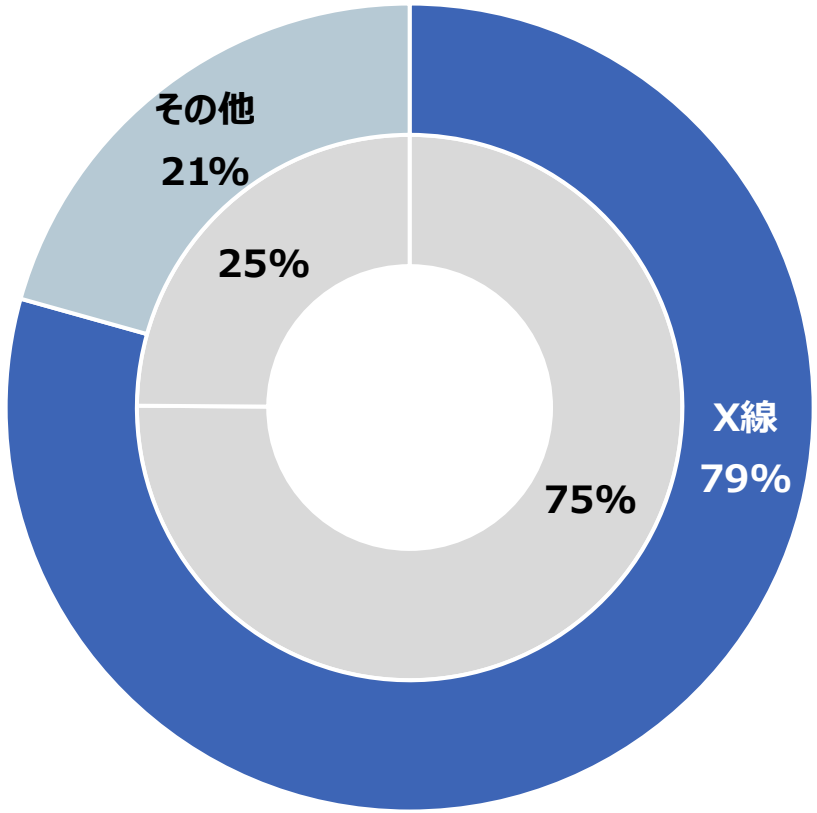
単位 億円	FY2025	FY2026	前年同期比		概況（中間期）
			増減額	増減率	
日本	605	606	+1	+0%	• 自動化や効率化の需要と半導体材料需要をとらえて試験機などが増加 • 中東影響と子会社ビジネスの反動減などから微増にとどまった
海外	1,077	1,165	+88	+8%	• 海外売上高比率は64.0%から65.8%へ増加
北米	199	217	+18	+9%	• 医薬や官公庁・大学向けに液体クロマトグラフや質量分析システムが増加
欧州	204	232	+28	+14%	• 臨床検査会社向けや官公庁・大学向けに質量分析システムが増加
中国	333	338	+6	+2%	• 官公庁・大学向けは前年の好調の反動で減少 • 医薬向けに液体クロマトグラフや質量分析システムなどが増加
その他のアジア（インド除く）	151	165	+13	+9%	• 東南アジアで医薬、食品、官公庁・大学向けに液体クロマトグラフや分光分析装置が増加
インド	95	102	+7	+8%	• 中東影響を受けたものの、医薬、食品向けで液体クロマトグラフが増加

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

医用機器 / 各種売上高構成比率（4-9月）

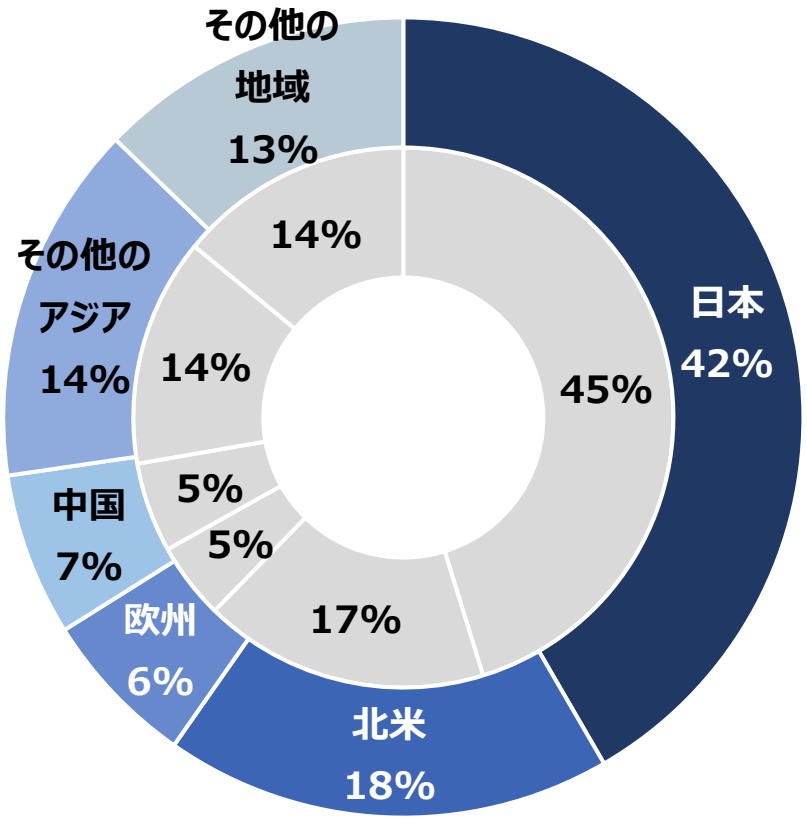
機種別

外側：FY2026実績　　内側：FY2025実績



地域別

外側：FY2026実績　　内側：FY2025実績



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

医用機器 / 地域別売上高（4-9月）

単位 億円	FY2025	FY2026	前年同期比		概況（中間期）
			増減額	増減率	
日本	152	149	▲4	▲2%	• 一般撮影システムを中心にX線機種が増加 • 収益性の低い製品の販売を縮小したことで全体では減少
海外	184	208	+24	+13%	• 海外売上高比率は、58.4%と前年同期比3.6pt増加
北米	57	65	+7	+12%	• 一般撮影システムや回診用システムが新製品効果で増加 • サービス事業が業績を押し上げ
欧州	15	23	+7	+48%	• 血管撮影システムや一般撮影システムが新製品効果で増加
中国	18	24	+5	+30%	• 政府の設備更新政策により、一般撮影システムやＸ線テレビシステムが増加
その他の アジア	46	52	+6	+13%	• 前年の大口案件の反動減があったものの、血管撮影システムが増加 • サービス事業が業績を押し上げ

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結業績（7-9月）

単位：億円		第2四半期(7月-9月)		前年同期比	
		FY2025	FY2026	増減額	増減率
業績	売上高	1,380	1,514	+134	+10%
	営業利益	194	231	+37	+19%
	営業利益率	14.1%	15.3%	+1.2pt	
	経常利益	200	202	+2	+1%
	親会社株主に帰属する当期純利益	157	149	▲8	▲5%
＜参考＞	のれん等償却前営業利益	198	235	+37	+19%
	研究開発費	71	71	+0	
	設備投資額	65	151	+86	
	減価償却費	49	54	+5	

		第2四半期(7月-9月)		前年同期比	
		FY2025	FY2026	増減額	増減率
為替	平均為替レート：米ドル（円）	147.53	159.30	+11.77	+8%
	ユーロ（円）	172.37	183.37	+11.00	+6%

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

セグメント別損益（7-9月）

■ 計測：増収増益　売上高 過去最高。付加価値訴求とリカーリング売上増で利益率が改善
■ 医用：減収減益　減収により減益
■ 産業：増収増益　売上高・営業利益・営業利益率 過去最高。増収や製造面の改善で大幅増益
■ 航空：増収増益　売上高・営業利益　過去最高

単位 億円	売上高				のれん等償却前営業利益				営業利益率		
	FY2025	FY2026	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	FY2025	FY2026	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	FY2025	FY2026	前年同期比 増減
計測機器	923	968	+44	+5%	149	168	+18	+12%	16.2%	17.3%	+1.1pt
医用機器	199	188	▲12	▲6%	21	18	▲2	▲11%	10.4%	9.9%	▲0.5pt
産業機器	161	240	+79	+49%	20	46	+26	+133%	12.4%	19.3%	+7.0pt
航空機器	83	105	+22	+27%	15	17	+1	+9%	18.2%	15.7%	▲2.5pt
その他	13	13	+0	+1%	2	3	+1	+60%	11.5%	16.8%	+5.3pt
調整額	-	-	-	-	▲10	▲18	-	-	-	-	-
合計	1,380	1,514	+134	+10%	198	235	+37	+19%	14.3%	15.5%	+1.2pt

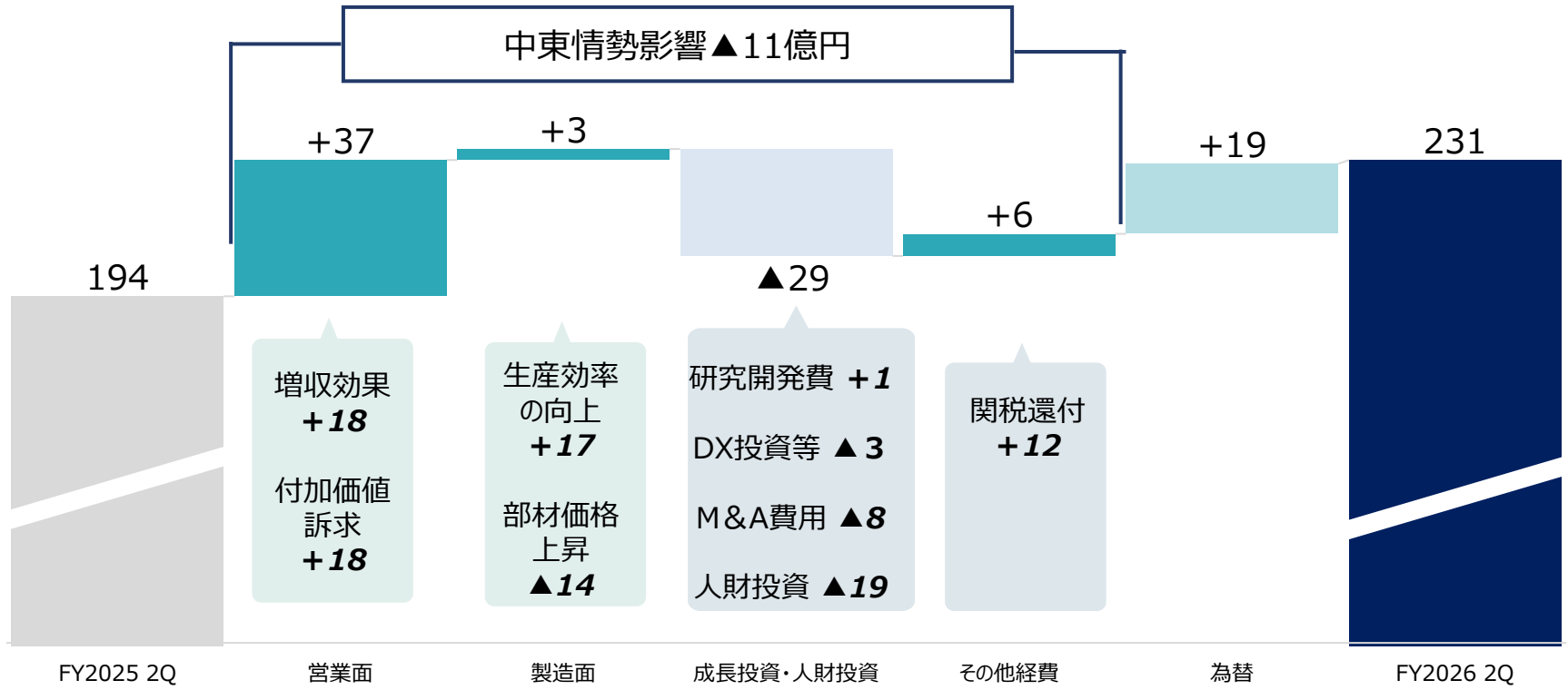
FY2026から、当社グループの経営上の重要な指標として「のれん等償却前営業利益」を採用。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025Q2はのれん等償却費計**4億円**の組み換えを行った。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結 / 営業利益増減要因（7-9月）

■ 営業面	：計測と産業を中心とした増収効果と付加価値訴求で増加	+37億円
■ 製造面	：部材価格上昇も、生産効率の向上により増加	+3億円
■ 成長投資	：DX投資やM&A費用が増加	29億円
■ その他経費	：関税還付などにより利益が増加	+6億円

（億円）



※記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、　表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 重点機種売上高前年同期比

■ 重点機種

LC： 中近東・日本で減少したものの、北米・東南アジア・中国を中心に医薬向けに増加
MS：日本で官需遅れの影響で減少。欧州の臨床向けに大幅増、北米・インドでは医薬向けに増加
GC： 日本は中東情勢影響で、中国は民需の停滞で減少

為替影響を含む	FY2024					FY2025					FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
重点機種	+3%	▲2%	+2%	+8%	+3%	+3%	+5%	+7%	+10%	+7%	+6%	+8%
全体	+3%	▲1%	+4%	+4%	+3%	+3%	+6%	+5%	+5%	+5%	+6%	+5%

為替影響を除く	FY2024					FY2025					FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
重点機種	▲6%	▲5%	▲0%	+6%	▲1%	+9%	+6%	+5%	+6%	+6%	▲3%	+3%
全体	▲5%	▲3%	+3%	+3%	▲0%	+7%	+7%	+3%	+2%	+5%	▲1%	+0%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 地域別売上高前年同期比

■ 日本：医薬向けのLCやMSが減少
■ 海外：中国では前年同期の大口案件の反動で減少。インドでは中東情勢影響から回復して大幅に増加

為替影響を含む	FY2024					FY2025					FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	+5%	+2%	+12%	▲2%	+3%	+4%	+11%	+3%	+4%	+5%	+4%	▲2%
北米	+13%	+13%	+21%	+11%	+14%	+13%	+4%	+10%	+8%	+8%	+11%	+7%
欧州	+8%	+4%	+3%	+7%	+5%	+2%	+13%	+17%	+14%	+12%	+23%	+6%
中国	▲5%	▲19%	▲10%	▲2%	▲9%	▲8%	▲1%	+1%	+5%	▲1%	+2%	+1%
その他のアジア	+4%	+3%	+1%	+13%	+5%	+13%	+5%	+0%	+14%	+8%	▲6%	+23%
インド	+20%	+25%	+4%	+24%	+17%	+16%	▲1%	▲5%	+25%	+8%	▲6%	+21%

為替影響を除く	FY2024					FY2025					FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	+5%	+2%	+12%	▲2%	+3%	+4%	+11%	+3%	+4%	+5%	+4%	▲2%
北米	▲0%	+9%	+17%	+7%	+8%	+22%	+5%	+9%	+5%	+9%	+1%	▲1%
欧州	▲4%	▲0%	+0%	+7%	+1%	+4%	+9%	+8%	+1%	+5%	+9%	+0%
中国	▲16%	▲21%	▲12%	▲4%	▲14%	▲1%	+1%	+0%	+2%	+0%	▲7%	▲6%
その他のアジア	▲7%	▲0%	▲1%	+12%	+1%	+21%	+7%	+0%	+12%	+9%	▲14%	+15%
インド	+6%	+20%	+0%	+21%	+11%	+25%	+0%	▲6%	+23%	+10%	▲15%	+12%

※インドはその他のアジアの内数

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

計測機器 / 領域別売上高前年同期比

	FY2024					FY2025					FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
ヘルスケア	+1%	▲4%	+5%	+11%	+3%	+2%	+7%	▲3%	▲3%	+1%	+4%	+2%
産業 (グリーン、 マテリアル)	+7%	+2%	+2%	+8%	+5%	▲6%	+1%	+0%	+3%	+3%	+15%	+6%
アカデミア/官庁	▲2%	▲8%	▲8%	▲7%	▲6%	+9%	▲1%	+14%	+7%	+7%	▲15%	▲0%

※為替影響を含む

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

リカーリング比率

- 計測　：北米・中国・欧州・インドで医薬・臨床市場向けに消耗品とサービスが拡大
- 医用　：北米他のサービス網強化によりメンテナンス・サービスが増加、中南米では部品事業が拡大
- TMP　：台湾・韓国・中国・欧州・日本で顧客カバー率向上により大きく増加

計測	FY2024					FY2025					FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前期比	+0%	+4%	+10%	+7%	+6%	+10%	+6%	+5%	+7%	+7%	+7%	+13%
リカーリング比率	41%	38%	40%	35%	38%	42%	38%	41%	37%	39%	45%	43%

医用	FY2024					FY2025					FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前期比	▲1%	+0%	▲0%	+4%	+1%	+6%	+5%	+5%	▲1%	+3%	▲3%	+0%
リカーリング比率	41%	36%	40%	34%	37%	47%	35%	37%	35%	38%	39%	39%

TMP	FY2024					FY2025					FY2026	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前期比	+46%	+50%	+34%	+28%	+38%	+24%	+23%	+29%	+32%	+27%	+27%	+45%
リカーリング比率	19%	19%	22%	19%	20%	21%	25%	25%	26%	24%	21%	21%

※為替影響を除く

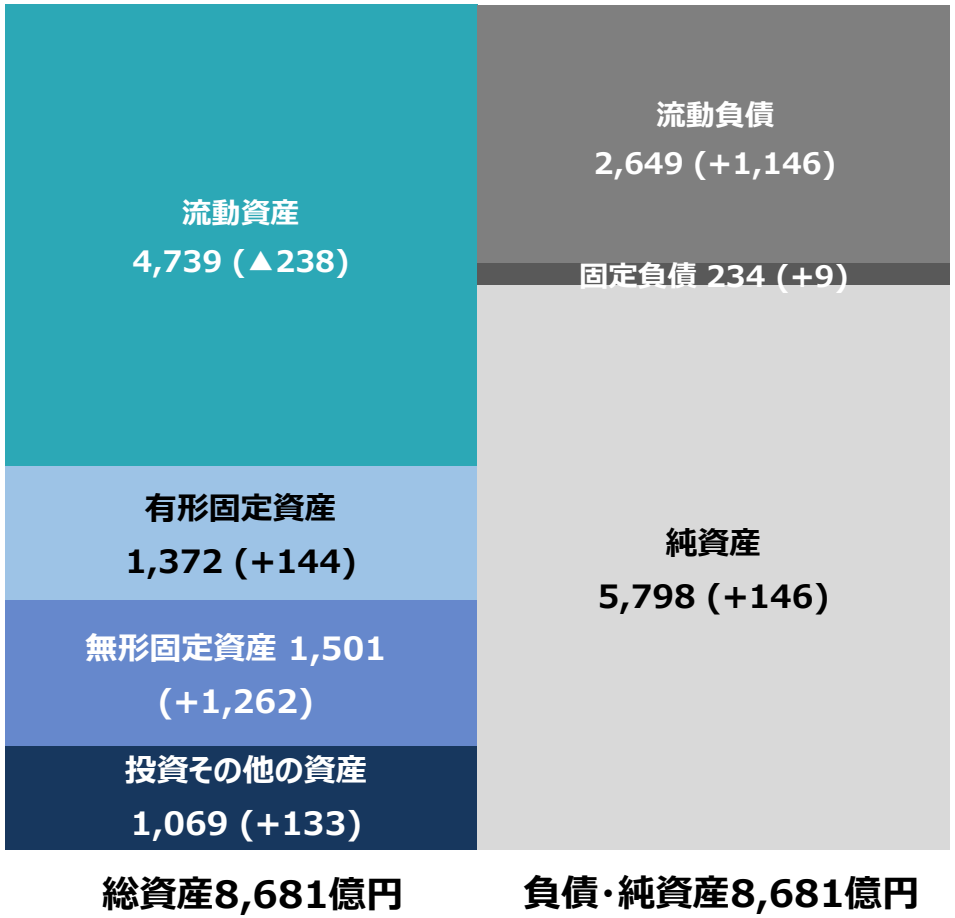
Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

連結財政状態

- 2026年9月末総資産 8,681億円 （2026年3月末から+1,301億円）
- Tescan社の連結により、無形固定資産・短期借入金が増加
- 借入金の増加により自己資本比率は66.8%に （2026年3月末比▲9.8pt）

(億円)

増減は2026年3月末対比



資産

流動資産 **▲238億円**

現金及び預金 ▲312億円

無形固定資産 **+1,262億円**

のれん +1,239億円

負債・純資産

流動負債 **+1,146億円**

短期借入金 +1,100億円

純資産 **+146億円**

連結剰余金 +171億円

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

2026年度通期セグメント別業績予想 期初からの推移

単位: 億円	売上高				のれん等償却前営業利益				営業利益率			
	FY2025	FY2026 期初予想	FY2026 8月予想	FY2026 新予想	FY2025	FY2026 期初予想	FY2026 8月予想	FY2026 新予想	FY2025	FY2026 期初予想	FY2026 8月予想	FY2026 新予想
計測機器	3,649	3,850	4,100	4,100	552	626	630	630	15.1%	16.3%	15.4%	15.4%
医用機器	738	700	715	745	50	56	60	65	6.8%	8.0%	8.4%	8.7%
産業機器	715	705	860	930	107	100	160	180	14.9%	14.2%	18.6%	19.4%
航空機器	434	440	470	470	82	50	60	75	19.0%	11.4%	12.8%	16.0%
その他	71	55	55	55	12	15	15	15	12.4%	20.5%	20.5%	20.5%
調整額	-	-	-	-	▲52	▲75	▲75	▲75	-	-	-	-
合計	5,607	5,750	6,200	6,300	751	772	850	890	13.4%	13.4%	13.7%	14.1%

FY2026Q1から、当社グループの経営上の重要な指標として「のれん等償却前営業利益」を採用。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025はのれん等償却費計**14億円**の組み換えを行った。

FY2026Q2から、買収により発生する費用をセグメントに帰属させず、全社費用として計上。
＊FY2026/FY2025の前年同期比を算出するにあたり、FY2025は買収関連費用計**15億円**の組み換えを行った。

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.